

「未来医療研究人材養成拠点形成事業」における工程表

申請担当大学名	岡山大学
連携大学名	無し
事業名	地域を支え地域を科学する総合診療医の育成

① 本事業終了後の達成目標

	本事業終了後の達成目標
達成目標	<p>①岡山大学総合診療医養成コース研修者(医師):5年間で30名以上(26-28年度:5-7名/年、29年度15名。29年度に地域卒業生が卒後3年目となり希望者が増加する可能性が高いため)。コース修了者は家庭医療専門医(将来の総合診療専門医)もしくは内科専門医の受験資格を有する予定である。②岡山大学アカデミックGP養成コース履修者(博士課程):5年間で大学院生20名以上。岡山大学MPHコース履修者(修士課程):5年間で8名以上。GPインテンシブ研修プログラム(研修、医学教育FD)履修者:5年間で15名以上。③地域総合診療実習コース履修者:毎年15名以上④MPH授与数:5年間で4名、博士号授与数:5年間で5名⑤現在内科学会教育関連施設が存在していない県北中央部、県北西部にそれぞれ1病院ずつが内科学会教育関連施設に認定される。県北西部で優れた地域包括ケアを実践しているエリアを中心として家庭医療学会後期研修プログラムに認定される。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース新規受入れ:医学部1年生20名 ・GIMセンターを設置 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ医師(復職)2名 ・ジェネラリスト養成セミナー開催 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング開催 ・中山間地域の病院における内科学会教育関連施設認定準備支援 ・日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム新規申請 ・県北の大学・自治体と連携した県北地域における地域医療・研究拠点の設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース新規受入れ:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ医師3-4名 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規受入れ:2名 ・アカデミックGP養成コース(博士)新規受入れ:2-4名 ・クリニカルGP養成コース(後期研修)新規受入れ:5-7名(内科・家庭医療) ・ジェネラリスト養成セミナー開催 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング開催 ・中山間地域の病院における内科学会教育関連施設認定準備支援 ・GIMカンファレンス開催 ・GIM指導医講習会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース新規受入れ:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ医師3-4名 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規受入れ:2名 ・アカデミックGP養成コース(博士)新規受入れ:3-5名 ・クリニカルGP養成コース(後期研修)新規受入れ:5-7名(内科・家庭医療) ・ジェネラリスト養成セミナー開催 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング開催 ・GIMカンファレンス開催 ・GIM指導医講習会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース新規受入れ:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ医師3-4名 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規受入れ:2名 ・アカデミックGP養成コース(博士)新規受入れ:4-6名 ・クリニカルGP養成コース(後期研修)新規受入れ:5-7名(内科・家庭医療) ・ジェネラリスト養成セミナー開催 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング開催 ・GIMカンファレンス開催 ・GIM指導医講習会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース新規受入れ:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ医師3-4名 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規受入れ:2名 ・アカデミックGP養成コース(博士)新規受入れ:5-7名 ・クリニカルGP養成コース(後期研修)新規受入れ:15名(内科・家庭医療) ・ジェネラリスト養成セミナー開催 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング開催 ・GIMカンファレンス開催 ・GIM指導医講習会開催
	定性的なもの					
アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース実施:医学部1年生20名 ・1月よりGIMセンターの稼働開始 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ(復職)2名、日本プライマリ・ケア学会認定医試験受験 ・ジェネラリスト養成セミナー4回開催(12/22まで)、114人参加 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング3回開催(12/22まで)、18人参加 ・中山間地域の病院における日本内科学会教育関連施設認定準備支援(CPC支援1回) ・日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム新規採択 ・新見市・公立新見大学との連携による地域医療・研究拠点の設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース実施:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ3-4名 ・ジェネラリスト養成セミナー6回開催100人参加 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング6回開催、20人参加 ・中山間地域の病院における日本内科学会教育関連施設認定準備支援(CPC支援1回) ・GIMカンファレンス12回開催 ・GIM指導医講習会1回開催5人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース実施:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ3-4名 ・ジェネラリスト養成セミナー6回開催100人参加 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング6回開催、20人参加 ・GIMカンファレンス12回開催 ・GIM指導医講習会1回開催5人参加 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規修了者2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース実施:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ3-4名 ・ジェネラリスト養成セミナー6回開催100人参加 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング6回開催、20人参加 ・GIMカンファレンス12回開催 ・GIM指導医講習会1回開催5人参加 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規修了者2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療実習コース実施:医学部1年生20名 ・GPインテンシブ研修プログラム新規受入れ3-4名 ・ジェネラリスト養成セミナー6回開催100人参加 ・ジェネラリスト・スキルトレーニング6回開催、20人参加 ・GIMカンファレンス12回開催 ・GIM指導医講習会1回開催5人参加 ・公衆衛生(MPH)コース(インテンシブ)新規修了者2名 ・アカデミックGP養成コース(博士)修了者5名
	定性的なもの					

アウトカム (成果、効果)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県の各二次医療圏をバランスよく含んだ日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム新規採択 日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医の新規認定(各2名以上) 日本病院総合診療学会認定医新規認定(1名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の病院における日本内科学会教育関連施設認定(1施設目) 日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医新規認定(各2名以上) 日本病院総合診療学会認定医新規認定(1名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の病院における日本内科学会教育関連施設認定(2施設目) 日本プライマリ・ケア学会指導医新規認定(2名以上) 日本病院総合診療学会認定医新規認定(1名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本プライマリ・ケア学会指導医新規認定(1名以上) 日本病院総合診療学会認定医新規認定(1名以上) 日本プライマリ・ケア学会家庭医療専門医の新規認定(2名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本プライマリ・ケア学会指導医新規認定(1名以上) 日本病院総合診療学会認定医新規認定(1名以上) 日本プライマリ・ケア学会家庭医療専門医の新規認定(2名以上)
	定性的なもの					

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	医療のパラダイムシフトの契機となるよう、従来の固定観念にとらわれることなく新たな発想で事業を実行すること。	本プロジェクトの推進にあたっては、岡山大学だけでなく地域医療機関、自治体、他の医育機関そしてNPO組織など、多種多様な組織の強い連携により一体的にその運営が行なわれることが明記されており、従来型の垂直型連携ではなく、水平型或は問題解決型連携を継続することで顔の見えるネットワークを構築し、新たな発想で事業の実行を行なう。
②	事業期間中のアウトプット、アウトカムを年度ごとに明確にし、達成状況の工程管理を行うこと。	定期的なGIM委員会、外部評価委員会などの定期的開催を行なうことで各事業年度の目標達成度に関する評価・検討を行ってより確実な工程管理に努める。
③	事業の実施にあたっては、一部の教員や一部の組織のみで実施するのではなく、学長・学部長等のリーダーシップのもと、全学的な実施体制で行うこと。また、事業の責任体制を明確にすること。	本プロジェクトでは事業推進責任部署であるGIMセンターを岡山大学医療教育統合開発センター内に新たな部門を新設して設置した。医療教育統合開発センターは岡山大学直轄の組織であり、これによってより全学的な事業の実施が可能となった。
④	事業期間終了後も各大学において事業を継続されることを念頭に、具体的な補助期間終了後の事業継続の方針・考え方について検討すること。	本プロジェクトの事業期間終了後も、引き続き岡山大学医療教育統合開発センター、総合内科学講座並びに地域医療人材育成講座が主体となって総合診療医育成事業を継続することになっている。
⑤	成果や効果は可能な限り可視化しうえで社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学の参考となるよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、導入に至る経緯や実現するためのノウハウ、留意点、ポイント等についても情報発信すること。	本プロジェクトによって得られた成果や効果は、GIMセンターのホームページや活動報告書などにより進捗状況をリアルタイムで情報発信していく。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(改善を要する点、留意事項)	対応方針
種々の教育方法を用いる内容だが、相互の連携が必要と思われる。	本プロジェクトでは各医療現場での現場教育からシミュレーションセンターでの教育まで様々な時・場所・プログラム・対象者を柔軟に連携させて総合診療に役立つ各種医療技術の習得促進を行なう予定である。また、教育の進捗管理のための経路症例ログシステム(e-ポートフォリオ)、テレビ会議を用いたGIMカンファレンスなどを有機的に組み合わせて多面的な教育体制を構築する。また、指導医間の連携が非常に重要であり、これまでに地域医療部会などを通して構築した人的ネットワークを生かして取り組む。
e-ラーニングの効果が確実なものとする必要がある。	本学では以前より学内におけるe-ラーニングのシステム整備が進んでおり、我々もそのシステムを活用した総合診療医育成のための遠隔教育体制の整備を予定しているが、それに加えて学外研修生へと対象を上げた広域e-ラーニングシステムの構築を行なう必要がある。具体的にはテレビ会議システムの導入によるカンファレンス、研究指導及び講義収録配信システムの活用、e-ポートフォリオによる進捗管理を予定している。
女性医師のキャリア支援について具体的なサポート体制の構築が必要。	本学では以前より岡山大学キャリアセンターMUSCATが女性医師への復職支援事業を行っており、本事業においてもアカデミックマインドを有する総合診療医を目指す女性医師へのキャリア支援や技術習得支援を継続的に展開していく予定である。これまでに80名以上の女性医師の復職支援を行った実績を基に、一層確実なフォローアップシステムと地域医療機関への人材循環システムの構築を予定している。